

# 1. はじめに

広島県医師会長

広島県腫瘍登録委員会委員長

碓井 静照

広島県腫瘍登録事業は1973年に開始されました。各施設のご理解とご協力のおかげで2006年も42,759件の多数の登録をいただき、2006年末現在で総登録受付件数は822,135件に達しました。誠に有り難く感謝申し上げます。

私たちは本事業をより発展させ、県民のがん対策、がん診療に貢献したいと考えております。この目的のために、本事業が広島県地域がん登録事業（実施主体：広島県）と一体化を図ったことはご承知のとおりでございます。この一体化によって、腫瘍（組織）登録の病理学的な成績が、広島県地域がん登録事業の臨床成績を補完することができ、より精度の高いものとなることを期待しております。

広島県内でがん登録事業が開始されたのは全国でも屈指の早い時期でありましたが、ここに来て、正確な病理診断に裏付けられた臨床登録の体制が整ったと考えております。このように全国に先駆けた新たながん登録事業の一つの方向性を示す事業に発展したことを喜びとして、今後も県民の健康のために努力を傾けたいと考えているところでございます。

広島県医師会ではこの腫瘍（組織）登録のデータ集計を基に、毎年報告書を発行してまいりました。この度、広島県腫瘍登録報告書 No. 30 を作成いたしましたのでお届けいたします。

まず「グラフで見る2002年のデータ」として2002年の広島県内60医療機関における腫瘍組織登録の結果をまとめました。詳細は「2002年のデータ集計」として添付しておりますのでご覧下さい。2002年の登録精度については、悪性腫瘍罹患総数に対する、悪性腫瘍によって死亡したにもかかわらず本事業が届出のなかった症例（Death Certificate Only; DCO）の割合（DCO 割合）で検討した結果は、23.3%と全国の地域がん登録のものと比較しても、登録精度は高いと思われます。その一方で、二次保健医療圏別では、福山・府中が77.3%を示し、広島、広島西では20%未満と、県内の圏域によって DCO 割合に格差が認められました。

また、特定解析臓器は甲状腺癌を取り上げ、「グラフで見る1973～2002年の甲状腺腫瘍」として甲状腺腫瘍について30年間のまとめを行いました。是非ご覧いただきますようお願い致します。

今後は、いかに本事業の成果を県民に還元するかを考えながら、前向きに事業の推進を図りたいと考えております。そしてさらに本事業開始前1973年以前の病理診断情報につきましても、関係病院の協力を得て収集作業が進んでおります。

本事業に対しまして、何卒ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。